京丹波町農業委員会だより　第２１号
令和３年３月発行

京丹波　味夢くん

京丹波町
KYOTAMBA TOWN

# 京たんば

「黒豆は、苦労豆でもやめられない。」生産者の熱い思いがなければ京丹波町の特産物である黒豆は存続しない。手間暇惜しまず行うことが京丹波ブランドを支えている。第５期広報部会委員が味夢くんと高岡の圃場で葉取り作業を体験した。
（令和２年11月）

目次：

第6期農業委員担当エリア ……2
推進委員担当エリア……3
第6期農業委員会会長就任あいさつ ……4
第5期農業委員会会長退任あいさつ ……4

発行／京丹波町農業委員会　編集／京丹波町農業委員会広報部会
〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷62番地6　電話 0771(82)3822　FAX 0771(82)2700

# 京丹波町農業委員
# 担当エリア

**委員名**(住所)
担当地域名



会長職務代理
**川邉隆夫**(下粟野)
大迫・長瀬・塩谷
篠原・上乙見・下乙見
西河内・下粟野・細谷
上粟野・仏主



**山内康彦**(升谷)
中山・升谷・市場・大倉



**谷　義春**(坂原)
本庄・小畑・坂原
安栖里・中・角・広瀬



**下村　虔**(稲次)
才原・大簾・広野
出野・稲次



会　長
**山田　進**(高岡)
口八田・高岡

農政部会部会長
**松野堯俊**(井脇)
井脇・井尻・八田・小野





農地部会部会長
**岩崎弘一**(曽根)
曽根・院内・幸野

広報部会部会長
**宇野栄晃**(三ノ宮)
保井谷・粟野・妙楽寺
三ノ宮





**北村和夫**(実勢)
富田・実勢

**中尾一夫**(橋爪)
中台・橋爪・和田・大朴





**船越政雄**(水戸)
水戸・新水戸・須知・市森

**山藤重信**(水原)
坂井・水原・上大久保
下大久保





**野口芳彦**(豊田)
豊田・上豊田

**輕尾　孝**(東又)
東又・鎌谷下・鎌谷中
鎌谷奥





**樹山敬二**(上野)
上野・蒲生・蒲生野

**北村辰浩**(質志)
水呑・質志・戸津川
猪鼻





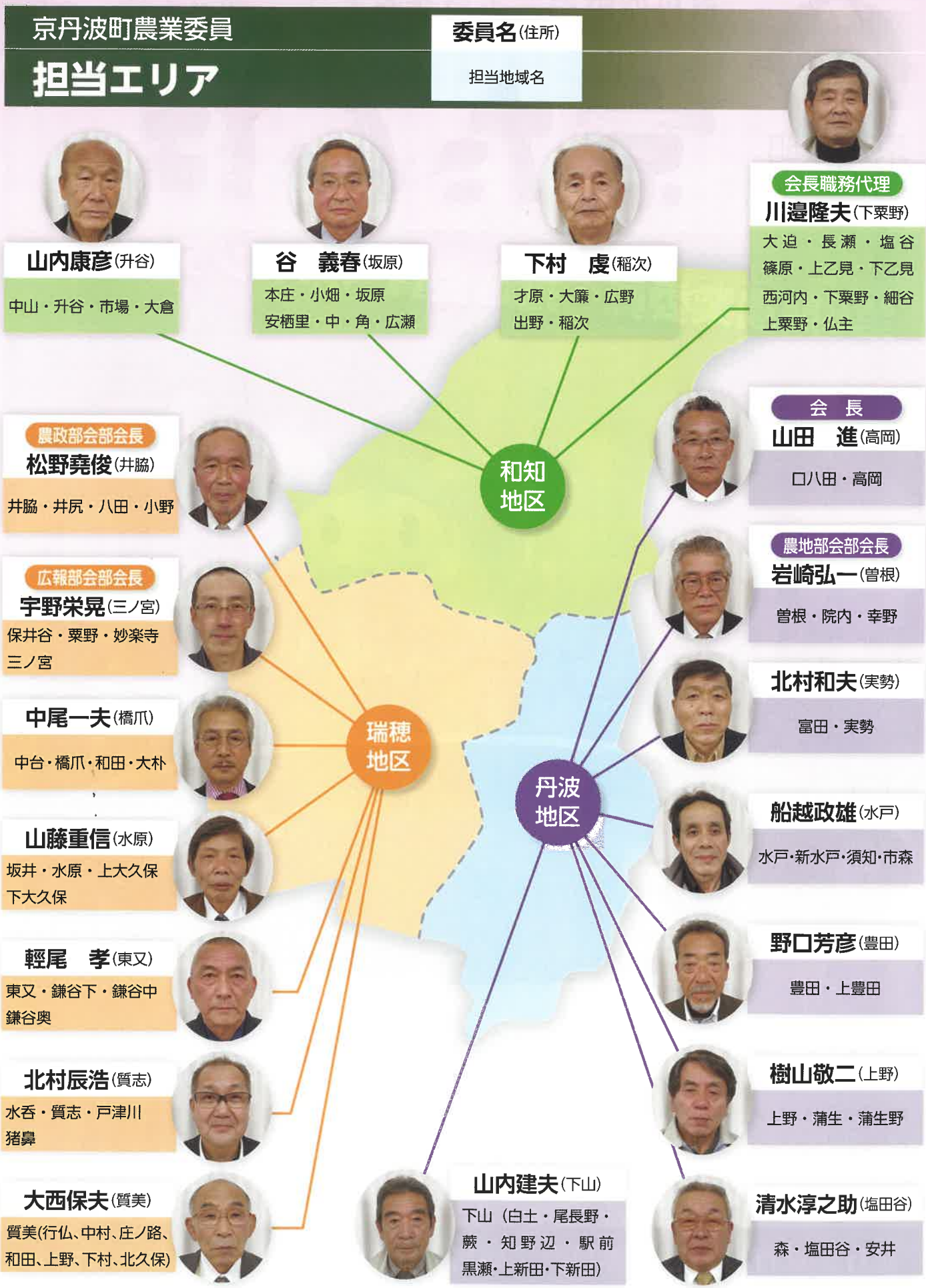
**清水淳之助**(塩田谷)
森・塩田谷・安井

**大西保夫**(質美)
質美(行仏、中村、庄ノ路、
和田、上野、下村、北久保)





**山内建夫**(下山)
下山（白土・尾長野・
蕨・知野辺・駅前
黒瀬・上新田・下新田）




農地法等の許可に関する申請は、毎月20日（ただし閉庁日の場合はその前日の開庁日）が締め切りです。

# 京丹波町農地利用最適化推進委員
# 担当エリア

**委員名**(住所)
担当地域名

**片山里史**(広野)
才原・大簾・広野・出野
稲次

**片山さえ子**(角)
安栖里・中・角・広瀬

和知地区代表
**山口　均**(長瀬)
大迫・長瀬・塩谷・篠原
上乙見・下乙見

**安岡啓史**(市場)
中山・升谷・市場・大倉

**梅原主次**(小畑)
本庄・小畑・坂原

**村岸　豊**(下粟野)
西河内・下粟野・細谷
上粟野・仏主

丹波地区代表
**阪田定一郎**(下山)
下山（知野辺・駅前
黒瀬・上新田・下新田）

和知地区

瑞穂地区代表
**森田一三**(鎌谷下)
東又・鎌谷下・鎌谷中
鎌谷奥

**和久田正和**(須知)
水戸・新水戸・須知・市森

**細井貞武**(八田)
井脇・井尻・八田・小野

**松谷實二**(高岡)
口八田・高岡

瑞穂地区

丹波地区

**藤井　保**(水呑)
水呑・質志・戸津川・猪鼻

**岡本政芳**(蒲生)
上野・蒲生・蒲生野

**山内　敏**(質美)
質美(行仏、中村、庄ノ路、
和田、上野、下村、北久保)

**岩崎雅人**(曽根)
曽根・院内・幸野

**我妻秀範**(和田)
中台・橋爪・和田・大朴

**浅井明美**(森)
森・塩田谷・安井

**伴田　哲**(上大久保)
坂井・水原・上大久保
下大久保

**坂本達也**(豊田)
豊田・上豊田

**永井吉幸**(富田)
富田・実勢

**古谷孝夫**(粟野)
保井谷・粟野・妙楽寺
三ノ宮

**松村康弘**(下山)
下山（白土・尾長野・
蕨）



農業委員会では、入ってお得な農業者年金の加入をお勧めしています。随時相談受付中。

第6期農業委員会会長

# 就任あいさつ

第6期会長　山田　進

皆様には、日頃より京丹波町農業委員会の活動に関しまして格段のご理解、ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

この度、2月12日の任命式において、第6期農業委員として19名が町長から任命され、「第1回京丹波町農業委員会総会」で委員皆様のご推薦をいただき、会長の重責を担うこととなりました。浅学非才で期待に沿えるものではありませんが、全身全霊努力し、その重責を全うしたいと決意しています。

任期のスタートにあたり、農業委員とともに地域における農業振興・農地保全等を担う22名の農地利用最適化推進委員を2月18日に委嘱しました。3年間、一丸となって全力で取り組んでまいります。

さて、基幹産業が「農業」である京丹波町は、古くから「京の都の台所」として米、黒大豆、小豆、栗や野菜等を提供してきました。「京都丹波・京丹波町」としてのブランドの発信と定着は、先人からの努力と研鑽の賜物として今後も継承すべきものです。

しかしながら、地域農業・農村を取り巻く情勢は厳しく、「農家人口の減少」、「農業従事者の高齢化」、「担い手不足」、「荒廃農地の増加」などは依然として大きな課題であります。

さらに、昨年から世界的に拡大した「新型コロナウイルス感染症」の影響は、経済各界に及び、米や野菜等の販売が大きく減少した農業も決して例外とは言えません。終息時期は判りませんが、我々の住む農村・農業施策も大きな転換期を迎えることは間違いありません。町や関係団体と一致協力し、農業施策の先鞭を執る時を躊躇してはならないと考える次第です。

常々、私は「にぎわいのある町づくり」が直面している課題解決の鍵は、「都市住民を如何に呼び込むか」に尽きると考えています。

「京力農場プランの策定と実践」は、そのための施策として有効な選択肢の1つであり、「地域の課題」を農家だけではなく地域住民の皆様で「話し合い」を行い、「方向性の決定をする」ことが重要だと考えます。

最後に、森田保前会長が築かれた方針を継承しつつ、京丹波町の実情に沿った「持続可能な農業、農地、農村」の構築に努めることを祈念し、就任のご挨拶とさせていただきます。

第5期農業委員会会長

# 退任あいさつ

第5期会長　森田　保

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、コロナ禍による日常生活をはじめとし、世の中の動きが大きく激変した1年となりました。

農業分野においても消費の低迷、価格の下落など多大な影響を及ぼし、農業生産基盤の脆弱化に拍車をかける状況を生み出す結果となりました。

中山間地域の限られた農地面積の中で、獣害や少子高齢化に伴う担い手不足と守るべき農地の集積を大きな課題とする本町農業委員会では、農地利用の最適化のための活動方針を定めた「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき課題解決に向けて取り組んで参りました。

この度、法改正後、初めての改選により任命を受けました第5期農業委員19名と農地利用最適化推進委員21名が令和3年2月10日で任期満了を迎えました。

私事ですが、今期まで5期15年間、大変微力ではございましたが、農業委員として農地行政にお力添えができましたことは、ひとえに皆様のご助言・ご指導の賜にほかならず、ここに心より感謝申し上げます。

次期委員の皆様には、従来にも増して「農地と人」対策の要であります農地利用の最適化の推進に向け、農地情報の収集・提供、担い手の育成・確保への取り組みを強化され、その成果が見える化となり、京力農場プラン実質化の実現に向けて一躍を担っていただくことをご期待申し上げます。

厳しい農業情勢ではありますが、農業再生により本町の基幹産業である「農業」が益々発展することをお祈り申し上げ退任のあいさつとします。

**京丹波町農業委員会だよりが令和2年度京都府農業委員会広報コンクールで『京都府農業会議会長賞』を受賞しました。紙面をお借りし、ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。**

令和3年2月、農業委員・農地利用最適化推進委員が新体制でスタートしました。農地に関することお気軽に相談ください。3年間、よろしくお願いします。